

国語科の分析と改善策

1年

① 分析

項目	分析
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none">・全般的に意欲的に取り組んでおり、態度も概ね良好である。ただし、約20%の生徒が授業の目的や目標をもって臨めていない。・約半数の生徒が、興味をもって授業に取り組んでいる。
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none">・ほぼ全員の生徒が、説明をわかりやすいと感じており、聞く力がある。・自分の考えや意見を端的に示すことができる生徒が多い。
書く能力	<ul style="list-style-type: none">・分量を計算に入れた作文・意見文を書くことが苦手である。・主語と述語が一致しない文を書いてしまうことが多い。
読む能力	<ul style="list-style-type: none">・情景描写から心理状態などを想像する習慣が付いていない。・接続語などに注目できず、因果関係をつかむことが難しい。
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none">・漢字に対して意欲的な生徒が多い一方、小学校における漢字の定着率が思わしくない。・部首や四字熟語など、読み書き以外の知識が乏しい。

② 具体的な改善策及び生徒の活動や発表力を身に付けさせるための工夫

- ・ 班学習など少人数での意見交換の場面を多く取り入れる。90%の生徒が演習の時間が十分確保されていると回答しているので、演習・思考時間の設定を継続していく。
- ・ 発言の機会を多くし生徒の独創的な発想と、授業への意欲を大切にしていく。
- ・ 学習プリントで文章構成メモを作成してから清書させていく。
- ・ 主・述の関係を常に意識させる作文指導を行い、推敲する習慣の定着を図る。
- ・ 1分間の漢字テストを継続して実施し、書き直しを通して定着を図る。その中で語句の知識、語彙力を伸ばしていく。

2年

① 分析

項目	分析
関心・意欲・態度	・全般的に意欲的に取り組んでおり、態度も概ね良好である。ノートも工夫してとれる生徒が多くなった。
話す・聞く能力	・「聞く」は関心が高く、目的に応じながらメモをとり、情報を聞き取る力が付いてきている。 ・「話す」に関しては個人差があり、伝えたい内容を理論立てて話す力に欠ける。
書く能力	・自分の意見や気持ちを文章にして表すことに対し、抵抗がなくなってきている。 ・文章構成を意識し文章全体をまとめようとする姿勢は身に付いてきているが、構成に工夫を加えることに課題がある。
読む能力	・文脈を正確に読解する力が乏しい。 ・段落のまとまりやつながりを意識して読み進めることが苦手である。
言語についての知識・理解・技能	・関心は高いが、正確さに欠けている。文法には苦手意識があるが、意欲的に取り組む姿勢がある。

② 具体的な改善策及び生徒の活動や発表力を身に付けさせるための工夫

- ・漢字小テストの回数を増やし、常に意識して学習するようにさせる。全校一斉漢字テストの実施を通し、課題意識を促し、学習へ取り組む機会を多く設ける。
- ・古典学習においては、なるべく沢山の作品に触れるようにする。著名な作品は冒頭部分を暗唱させるなど、興味関心をもってもらえるようにする。
- ・单元ごとの感想文など、意見文の作成を多く実施し、書くことの積み重ねを図りながら、都立高校学力検査の二百字作文に対応する力を付ける。
- ・各段落のポイントを押さえながら丁寧に読み進めることを繰り返し、力を付けていく。

3年

① 分析

項目	分析
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none">・全般的に意欲的に取り組んでおり、授業態度も概ね良好である。・発言も多く、班学習などでも積極的に意見を出している。・文学的文章に関しては関心が高い。説明的文章、古典は苦手意識が強い。
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none">・「聞く」は関心も高く、目的に応じながら情報を聞き取る力が付いてきている。メモを取りながら聞く姿勢もできている。・「話す」に関しては、発表活動や班学習を通して自信が付いてきた。
書く能力	<ul style="list-style-type: none">・文章構成力は付いてきたが、文法の知識が活用されていない。・表現力は豊かになってきたが、もう少し語彙力が付くとよい。
読む能力	<ul style="list-style-type: none">・情景・人物描写から心情を把握する力が付いている。・キーセンテンスを押さえながら、各段のつながりを正確に読み取る力が付いてきている。・語彙力の差が大きく、読みの深さに開きがある。・長文を読む早さが遅い（活字慣れしていない）。
言語についての知識・理解・技能	<ul style="list-style-type: none">・関心は高いが、正確さに欠けている。

② 具体的な改善策及び生徒の活動や発表力を身に付けさせるための工夫

- ・ 全校一斉漢字テストの実施を始め、漢字、意味調べ、文法等の基礎学習を大切にする。
- ・ 朝学習も含め多くの文章に触れるようにし、「読む」活動に慣れさせるとともに、入試対策問題等を計画的に組み込み、長文読解の力を伸ばす。
- ・ 古典に関しては、文脈から意味を推測しながら読む方法を身に付ける。
- ・ 都立高校学力検査の二百字作文に対応しうる力を付けるため、記述問題の練習を行う。
- ・ 引き続き班学習を定期的に取り入れ、意見交換の場を増やし、言語活動の充実を図る。